

H23. 12. 10

# 職域における飲酒の問題



「アルコール」シリーズ②



**長尾和宏** (ながお・かずひろ)  
 東京医大卒業後、大阪大第二内  
 科入局。平成7年、尼崎市で「長  
 尾クリニック」を開業。外来診療  
 から在宅医療まで「人を診る、総  
 合診療を目指す。医学博士。労働  
 衛生コンサルタント。53歳。プロ  
 グ (<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblog/nagao/>)  
 が好評。

今回は職域における飲酒の問題について考えてみましょう。日本企業の労働環境は大きく変化しました。従来の終身雇用に伴う家族主義的な経営から欧米型の成果主義、ないし個人主義的な経営に移行。それに伴いお酒を介した懇親や接待の機会は、昔に比べて確実に減っています。

しかし、企業活動において飲酒の果たす役割はまだまだ大きく、営業成果や人間関係

習慣病が大変密接な関係にあることが知られています。た

## γGTPに着目した生活習慣病対策を

脂肪肝などで上昇する検査値です。実はγGTP値と生活

このほかの職域におけるお

今後、γGTP値に着目した

注目すべきはγGTPが50

そういえば、東日本大震災

いちばん怖いのは、精神疾

では組織としての問題にもな

大量飲酒者の脳をCTで

ひよっぴ